

令和8年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第4回議事録（要旨）（案）

日 時：7月21日（火）午後6時30分～8時15分

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 8名（田辺委員、山崎委員、松田委員、薦田委員、北山委員、猿渡委員、和田委員、牛田委員）

欠席者：中里委員、杉田委員、大上委員、神保委員、島津委員

傍聴者：0名

事務局：3名

1 開会

2 議題

（1）夏季平和事業について【資料1】

・事務局より、夏季平和事業について説明。

【事務局】 本日の議題として夏季平和事業の当日の役割分担等を決める。現時点で、上映会は約40名、講演会は約70名の申込みがある。例年、市報8月1日号の1面に平和に関する事業の掲載をしている。今年は1面と12面を使って、イベント案内も含めて掲載を予定しているため、市報が配布されるタイミングでさらなる応募が予想される。なお、夏季平和事業に大学生インターン2名が16日に参加する予定である。

【委員】 夏季平和事業の申込時に年齢は伺っているか。

【事務局】 申し込み時には直接必要な情報ではないため年齢確認は行っていない。

【事務局】 展示担当の役割について初めて参加される方もいるので補足説明をする。展示担当の役割としては、会場の後方に展示する、延命寺さんからお借りした戦争資料について持っていけないように注意することや、展示物に説明書きを添える予定ではあるが、来場者へ必要に応じて簡単に説明していただくことがあげられる。

役割分担について、各委員から希望を伺うこととする。

【委員】 両日とも、武蔵野けやき会としてギャラリーで行っているパネル展示の対応を行っているため、手伝いに行けない。

【事務局】 承知した。この2日間のなかで、可能な範囲で構わないのでご協力をお願いしたい。

【委員】 参加日：16日

希望：特に指定なし。講師の希望に沿う方向で準備を進める。

【委員】 参加日：16日

希望：展示

家に戦争関連の資料があったかと思うので、あれば展示品として持っていきたい。

- 【 委 員 】 参加日：15 日
希望：指定なし
- 【 委 員 】 参加日：15 日
希望：展示
- 【 委 員 】 参加日：15 日・16 日
希望：受付または誘導
- 【 委 員 】 参加日：15 日・16 日
希望：予定が見えていないので司会は遠慮したい。展示が人気であるが、延命寺さんの戦争遺物を調査研究しているので、できれば展示に配置していただければと。必要であれば、誘導などでも構わない。
- 【 事 務 局 】 本日欠席の委員にも事務局で個別に確認したうえで役割を決めていきたい。
- 【 委 員 】 もし、他の委員から司会の希望が無ければやる。司会については、時間も決まっていると思うので、他の役割との兼務でも可能かと思う。

(2) 平和の日イベント（案）について【資料2-1】【資料2-2】

- ・事務局より、平和の日イベント（案）について説明。
 - ・武蔵野プレイスでの展示については展示期間が短くなってしまったため、最終日は正午までではなく夕方までにするなど調整を行う予定。
- 【 事 務 局 】 前回の委員会以降に追加で挙げていただいた案の補足説明をお願いしたい。
- 【 委 員 】 映画と講演の2本立てを実現したい。
映画は時間の長くないもの。広島原爆投下後にすぐに現地にかけつけたジュノー医師の映画。
講演はフォトジャーナリストを推薦したい。写真家の生々しい写真がやはり訴求力があると考え。他のフォトジャーナリストの候補があればそれでもいいかと思う。
- 【 委 員 】 前回まで候補として挙げていた戦場カメラマンの久保田氏が、負傷入院により対応不可として除外していただいていたが、現在は退院して講演など行っているということだったため、あらためて推薦したい。
政治的な背景もなく、戦場のリアルを伝えてくれる方である。
- 【 事 務 局 】 久保田さんも候補に加えるということでご意見いただきたい。全部で13の候補があがっているが、ある程度候補を絞っていただいたうえで、市で決定していきたい。
- 【 委 員 】 前回欠席してしまい説明できなかった。おざわゆき氏と長谷川義史氏について説明する。委員会の中で若い人達の参加につながる内容を、という意見が多く、その視点での提案である。
おざわゆき氏は漫画家で「あとかたの街」で名古屋の空襲を描いており、子どもの間でも知られている作品を描かれている。

お父さんのシベリア抑留の体験を描いた作品を予科練記念館とコラボして展示していたりするので、東京で講演をしていただくことも可能なのかと思い推薦した。名古屋の方なので、武蔵野市とのつながりは薄く、また、交通費の面も懸念ではある。

長谷川義史氏は、沖縄戦の戦没者追悼式で朗読された「へいわってすてきだね」の詩に絵をつけられた方。大阪の方なので交通費の面で懸念はある。

東京在住の方で小林エリカ氏も推薦させていただいた。この方はアーティストであり、「女の子たちの風船爆弾」において勤労働員をテーマにした作品に描かれた方で、知名度もある。

【 委 員 】 女性の視点が入っているのは重要と考える。平和の日以外にイベントがあるのなら、トータルで考えて選ぶのが良いのではないか。

【 事 務 局 】 市で行っている平和関係の事業は、大きくは夏季平和事業と平和の日イベントである。まずは平和の日イベントの内容を検討したい。実行委員会は毎年委員が変わりながらも継続していくものであり、今年挙げられた候補についても、来年度の実行委員会に共有していく。

【 委 員 】 現在の案を分類すると、先の大戦に関するものと現在の紛争に関するものに大別されるかと思う。

どう絞っていくかを考えたときに、私としては、「11月23日に武蔵野に爆弾が落ちた」という戦争体験の継承というところが重要と考える。

被団協は政治的に中立と言えるのか。私としては先の大戦に関するものから選ばれるのが良いのかなと思う。候補の中で一番知名度があるものは里見氏であるが、都合がつくかどうか懸念である。一番お金がかからないのが戦後世代の語り部である。最終的な判断は市に任せる。

【 委 員 】 岡田斗司夫さんについて説明する。自由学園での平和についての講演の実績がある。「最悪な平和と、まだマシな戦争」というテーマで、平和とは、戦争とはということを子どもたちにまず考えさせるものであった。吉祥寺在住であり、Youtubeでも発信しており、若い世代を取り込むという視点で良いかと思う。

【 委 員 】 先の大戦に限る必要は無いと考える。今のリアルな戦争を知ること大事であると考えている。

【 委 員 】 被団協は政治家との付き合いを常に拒否してきた団体。ただし、被曝者の団体である以上、原水爆を反対するということはあって当然のことかと考える。

【 委 員 】 「ガザからの手紙」について、アップリンクでこういった映画はよく上映されているため平和イベントでやる必要はないと考える。

- 【 委 員 】 そもそもこの平和のイベントで先の大戦に関連した内容でないといけないのかを確認したい。
- 【 事 務 局 】 11月24日を平和の日として定めており、その日に近い日程でイベントを行っている。自分たちが住む武蔵野市でも空襲があったということを知ってもらい、自分事として捉え、平和について考えるきっかけにしようという狙いがある。武蔵野市の空襲は先の大戦での出来事であり、結びつきやすいという点もあり、先の大戦に関係した内容が多いかもしれないが、限定するということではない。
- 【 委 員 】 条例制定に関わった立場としては、「武蔵野市平和の日条例」は、どんな内容にも対応できるような内容となっているため、特段先の大戦を想定しているものではない。
また、「戦争も核もない世界を武蔵野市から」というスローガンを掲げているので、核の問題というのも重要なテーマとして位置付けている。
- 【 委 員 】 夏のイベントの方が先の大戦と結びついていて、平和の日の方が広く平和を想定していると感じた。
- 【 事 務 局 】 この候補の中から絞っていきたいが、意見をいただきたい。
- 【 委 員 】 意見が割れてしまうかと思うので、最終的には市長が決めていただいていいと思う。
- 【 委 員 】 市の決定で良いと思う。
- 【 委 員 】 ある程度絞らないと、市も決めるのは厳しいのではないかと。各委員の良いと思う案に一人3つくらい手を挙げて、傾向を見るというのはどうか。
- 【 事 務 局 】 候補を絞る方法について提案があった。事務局としても傾向がつかめると検討が行いやすくなるが、そのように進めてよろしいか。
- 【 委 員 】 最終的には市の意思で決めていただきたい。
- 【 事 務 局 】 イベント内容について最終的には市で決める。その前提として傾向を確認させていただきたい。

※各委員から推薦する案を3つずつ挙げていただいた。

- 【 事 務 局 】 今回のご意見も踏まえて、市で決定していく。

(3) 研修会について【資料3】

・事務局より、研修会について説明。前回までに出てきた候補の説明。

- 【 事 務 局 】 スタンプラリーと予科練記念館が上がっているが、そのほかでも案があればご提案いただきたい。
- 【 委 員 】 研修会でスタンプラリーを検討するとしたら、来年度のスタンプラリーの実施は決定ということでもいいのか。
- 【 事 務 局 】 予算も関わる話であるため確定的なことは言えないが、前向きに進めていきたいという思いはある。
- 【 委 員 】 市長もイベントの日だけ行う平和事業ではいけないと言っていた。スタンプラリーは是非やっていただきたいし、私も協力して

いきたい。

- 【 委 員 】 スタンプラリーの検討に賛成。戦後 80 年企画として、「武蔵野・三鷹＃平和街歩き」をHPに掲載し様々な戦跡を紹介しており、こうした情報もスタンプラリーに活用できると考えている。
- 【 委 員 】 スタンプラリーをやるとして、研修会の日に何をするのか。
- 【 事 務 局 】 スタンプラリーについては、この日にピンポイントで研修会を行うというのではなく、スタンプラリー実施にあたって様々な検討事項があるので、そういった検討を研修の中で行う想定である。
- 【 委 員 】 スポットをどういう風にするのか、というのが重要なので、事前に委員からアイデアを集めたりする時間をもらえるのか。
- 【 事 務 局 】 スポットについては、先ほど紹介いただいたように、HP で公表している武蔵野市内の戦跡が参考になると考えている。研修会で行うこととしては、スポットの候補となる戦跡をフィールドワークとして回ってみるのも一つの案かと考えている。
- 【 委 員 】 私もフィールドワークを提案しようと考えていた。ただ、その前にスポットについては各委員が候補を持っているかと思うので、意見を集めた方がいいかと考える。
- 【 委 員 】 スタンプラリーを今年の研修会でやるのはふさわしいのか。今年度の委員も来年も委員になるとは限らない。今年の研修が来年に活かせるのか疑問に思う。
- 【 事 務 局 】 実行委員会で検討していくことで、今年度中に実施には至らないが、次につながっていくと考えている。
- 【 委 員 】 みんなで出し合った知恵が次につながるのには意味があるかと思う。また、スポットについては、戦跡だけでなく商店街等にもスポットがあり、その中で戦跡も巡る、くらいハードルを下げた内容で良いのではないかと思う。
- 【 委 員 】 スタンプラリーは毎年案として出てくる。もし本当にスタンプラリーをやりたいのであれば、提案する方が戦跡などもう少し絞っていただければと感じている。また、境南コミセンのモーニングハイクの経験から、集団で町を歩くとなると、安全配慮や、体調不良者へのフォロー体制を整える必要がある。スタンプラリーの提案者の方には、ある程度の人数規模感や金額感を出してもらう必要があると考える。この人数でスタンプラリーを回るのは難しいかと思う。
- 【 委 員 】 ハイクとスタンプラリーは別物。スタンプラリーの検討はハイクのように時間や日数を決めて行うわけではない。
- 【 委 員 】 気軽に誰でも参加できるようなものでなければならない。スタッフについてもポイントで置く必要はあるかと考えるが、市民から募るという案もあるかと思うし、そういった内容を研修会の中で検討していけばいいのではないか。
- 【 委 員 】 先日、都立公園のスタンプラリーに参加した。デジタルスタンプで、いくつか揃ったら公園事務所へ行って景品と交換するという

内容。そういったイメージであるが、それであれば無理はないのかなと感じる。

【 委 員 】 この研修会については、市がスタンプラリーを実施したいと考えていて、来年の委員にも意見を求めるという形ならば研修の意味はあると考えるが、これまでと同じように、その年に行うイベントの一つとして委員に提案してもらうというような待ちの姿勢では、結局話が進まないということになってしまう。今年度、スタンプラリーについての研修を行うのであれば、市が主体となって今年度検討したことをまとめて来年度につなげないと意味がないのかなと考える。

【 委 員 】 具体的に各スポット間でどれくらい歩く距離があるのだろうか。先ほどおっしゃっていた都立公園のスタンプラリーはどういったスポットの設定だったのか伺いたい。

【 委 員 】 都立公園全部が対象で、どこを回ってもいいし、全部回らなくてもいい。1日で回らなくてもいい。必要な数揃ったら景品がもらえるというもの。

【 委 員 】 研修でスタンプラリーをやるのか。スタンプラリーの中でも具体的にこの部分を研修していこう、等があれば前進につながると考える。

【 事 務 局 】 市として、スタンプラリーを行いたいという思いはある。その実現のために検討していければと考えている。

研修でスタンプラリーの検討を行う場合には、1つはスポットの候補をフィールドワークとして回ってみて、各スポットのことを知るといことも研修になると考えている。また、その際にエリア全体の広さやスポット数、他のスポット案等を考えるきっかけになるかと思う。

他にも検討すべきことはたくさんあると思うので、検討した方がいい事項なども含めてご意見いただければと考えている。

【 委 員 】 エリアについては、市全域で良いと思う。それを各委員で分担してフィールドワークを行い、それらの情報を持ち寄ってすり合わせるという方法が良いと思う。

【 委 員 】 より幅広い人たちに考えてもらうきっかけという視点で、スタンプラリーのハードルは低い方がいいと考える。そのためには、スポットは必ずしも戦跡ではなく、近所の商店街や公園でもいいと考える。子育て世代のママなどに子どもを連れて参加してほしい。

【 委 員 】 先ほど市内全域といったのは「戦跡」という意味ではない。例えば、玉川上水が品川用水に分岐する場所などを含めてもいいのかなと考える。

世代を広げるという考えに賛成であり、もっと言えば子どもに参加してもらいたい。

【 事 務 局 】 全体的にスタンプラリーを進めていく意見が多いかと思う。スタンプラリーの検討を進めるにあたって、たたき台がほしいという

意見もあったので、事務局で進め方の方向性を示し、そのうえで委員の皆様から意見を募り、ある程度のスタンプラリーの形を作りたいと考えている。また、年度のイベントに限らず、日頃から使えるようなツールとして検討していきたい。その方向性ということで、スタンプラリーの検討を今年度の研修として決めてよろしいか。

【 委 員 】 これまで進まなかったが、1歩前進できるのならいいかと思う。今後のスケジュール感はどうか。

【 事 務 局 】 現時点では、フィールドワークは1日設定して行うことを想定している。内容の検討は、毎月の実行委員の中で30分時間を取って行うといった方法が現実的かと考える。

【 委 員 】 話を聞いたところ、委員の皆さんもアイデアを持っていそうなので、各委員からもアイデアを募集してはどうか。

【 委 員 】 次回までに皆さんからスポットを提案していただくのはどうか。メールでもいいので、スポット案などを取りまとめていただけたらと思う。

【 委 員 】 スポットの問題だけではないので、どのようなイメージを持っているのかを募るのがいいかと思う。

【 事 務 局 】 実行委員会としては間が空くタイミングでもあるので、その間に全体のイメージやスポットの案などご意見をいただきたい。あらためて委員の皆様には連絡する。

(4) その他

【 委 員 】 委員会の委員長は置かないのか。被団協などに問い合わせると、この会のトップは誰か聞かれることがある。委員長を決めた方がいいと考える。

学生委員がいないのも残念。今からでもいいので、学生委員も募ってほしい。

【 委 員 】 学生はぜひ募ってほしい。委員長は必ずしも必要ではないと考える。

【 事 務 局 】 この実行委員会を要綱により設置して、各委員個人から意見を伺う場として整理したため、委員長を置いていない。

大学生委員については、大学等に出してもらおうよう依頼することまではできないが、声掛けの方法は考えてみたい。

【 委 員 】 委員になるのはハードルが高いので、スポットで来てもらって意見を言ってもらうのも方法として考えられるかと思う。

【 委 員 】 ボランティア的な参加もあるのかと思う。若い方の意見を反映させられるようにしたい。

【 事 務 局 】 学生委員の柔軟な参加手法については考えていきたい。

第5回平和実行委員会：9月25日(金)かたらいの道市民スペース

3 閉会